

<b>10021 コリアン I B a、b</b> Korean IB		1 年次～ 通年 2 単位	
担当者	金 銀美	履修可能学科	E選必 Pe選必 Pc選必 C選必 W F N
		関連資格	教職(Pe・Pc)
サブタイトル	基礎から学ぶ実践的な韓国語		
授業内容 ・ ねらい	<p>1. 韓国・朝鮮で使用されているハングルの成り立ち、個々の字母が表す音を理解することによりハングルの読み書きを行えるようにする。</p> <p>2. 音のつながりやイントネーションを意識した学習により、正しい発音で簡単な挨拶や自己表現ができるようになる。</p> <p>3. 用言の活用を中心とした文法項目の学習を通して、韓国語の構造を理解し、より複雑な文の生成ができるようになる。</p> <p>4. プロダクティブな活動(話す／書く)を通して、実践的な表現力を養う。</p> <p>5. 日本語と同じ文法構造をもつ韓国語を学習することにより、外国語としての韓国語の習得はもちろん、ふたつの言語を比較することにより、母語である日本語へのさらなる理解を深める。</p>		
授業計画	<p>&lt;前期&gt;</p> <p>1回：韓国語はどんなことば？</p> <p>2回：前回の復習、第1課 文字と発音(1)母音</p> <p>3回：前回の復習、第2課 文字と発音(2)子音(初声)</p> <p>4回：前回の復習、第2課 文字と発音(2)子音(初声)</p> <p>5回：前回の復習、第3課 文字と発音(3)子音(終声)</p> <p>6回：前回の復習、第3課 文字と発音(3)子音(終声)</p> <p>7回：第1課～第3課の総復習、第4課 挨拶表現</p> <p>8回：前回の復習、第4課 挨拶表現</p> <p>9回：前回の復習、第5課 指定詞のへヨ体と尊敬表現</p> <p>10回：前回の復習、第5課 聞き返し表現</p> <p>11回：前回の復習、第6課 助詞、指定詞のハムニダ体</p> <p>12回：前回の復習、第6課 自己紹介表現</p> <p>13回：前回の復習、第7課 場所と主格を表わす助詞、</p> <p>14回：前回の復習、第7課 丁寧化のマーカ-</p> <p>15回：第1課～第7課まで総復習および総まとめ</p> <p>&lt;後期&gt;</p> <p>1回：前期(第1課～第7課)の復習、韓国の歌</p> <p>2回：第8課 助詞、1人称代名詞のまとめ</p> <p>3回：前回の復習、第8課 漢字語数詞、相植の表現</p> <p>4回：前回の復習、第9課 指定詞の否定形</p> <p>5回：前回の復習、第9課 こそあどの冠形詞</p> <p>6回：前回の復習、第10課 用言の活用①</p> <p>7回：前回の復習、第10課 用言の活用②</p> <p>8回：前回の復習、第10課 固有語数詞</p> <p>9回：第8課～第10課の総復習および総まとめ</p> <p>10回：前回の復習、第11課 用言のへヨ体と助詞</p> <p>11回：前回の復習、第11課 確認法</p> <p>12回：前回の復習、第12課 E-mailの書き方</p> <p>13回：前回の復習、第12課 用言のハムニダ体、用言の否定形</p> <p>14回：前回の復習、第12課 用言の不可能形、接続形</p> <p>15回：第8課～第12課まで総復習および総まとめ</p>		
教科書 参考書	<p>教) 野間秀樹, 村田寛, 金ジナ共著『Campus Corean — はばたけ! 韓国語』(朝日出版社) 2400円+税</p> <p>参) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)</p>		
評価方法	出席、授業での積極性、小テスト、会話テスト及び前・後期試験により総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻3回で欠席1回とし、学則に定める全授業時数の3分の1以上欠席した場合は失格とする。</li> <li>・語学の学習においては基礎を学ぶ最初の1、2ヶ月が非常に重要となるため必ず出席すること</li> </ul>		